<先週の指標の動き>

指標名	数値	コメント
4月機械受注 (6/12)		4月の機械受注(船舶・電力を除く民需)は、3
民需(船舶・電力を除く)	前月比▲3.1%	ヵ月ぶりの前月比減少。業種別にみると、非製造業
	(前年比+2.7%)	(船舶・電力除く) が2ヵ月連続で前月比減少し、
製造業	前月比+2.5%	全体を押し下げ。金融業・保険業がシステム関係の
	(前年比+9.8%)	受注で大幅なマイナスとなったほか、建設業も前月
非製造業(船舶・電力を除く)	前月比▲5.0%	の反動を受け減少。一方、製造業は3ヵ月連続の増
	(前年比▲2.1%)	加。非鉄金属が減少したものの、スマートフォンや
		I o T関連が好調なことから、はん用・生産用機械
		や電気機械、情報通信機械などで増加。内閣府は基
		調判断を、「持ち直しの動きに足踏みがみられる」
		で据え置き。
5月企業物価指数 (速報、6/12)		5月の企業物価指数は、5ヵ月連続で前年比上昇。
国内企業物価指数	前年比+2.1%	もっとも、原油の値上がりが鈍化し、騰勢は一服。
	(前月比+0.0%)	米国や中国の公共工事の増加期待を受けて鉄鋼が上
輸出物価指数(円ベース)	前年比+4.4%	昇したほか、化学製品や電力・都市ガス・水道も上
	(前月比+1.0%)	昇し、全体を押し上げ。
輸入物価指数(円ベース)	前年比+13.5%	輸出物価指数(円ベース)は、5ヵ月連続のプラ
	(前月比+2.2%)	ス。金属・同製品や化学製品で高い伸びが続いたほ
		か、はん用・生産用・業務用機器はプラスに転化。
		輸入物価指数(円ベース)も5ヵ月連続のプラス。
		石油・石炭・天然ガスで高い伸びが続いたほか、金
		属・同製品も上昇。円安地合いが続いていることも
		輸出入物価の押し上げ要因に。
5月首都圏マンション市場動向 (6/15)		5月の新築マンション発売戸数は、4ヵ月ぶりに
新築マンション発売戸数	前年比▲13.3%	前年比減少し、同月としては1992年以来の低水準。
		地域ごとでみると、東京都区部が前年比▲8.9%、東
月間契約率	前年差+1.3%ポイント	京都下が同▲29.4%と減少。全体の5割強を占める
		東京都で、大型物件の売出しが少なかったことが影
		響し、全体を押し下げ。一方、月間契約率は、72.2%
		と4ヵ月ぶりに前年差上昇し、好不調の節目とされ
		る 70 を上回る状況。

<国内景気の現状判断と当面の見通し>

(1) 国内景気の現状判断

わが国景気は、総じて緩やかに持ち直し。家計部門では、堅調な企業収益や人手不足を背景に、雇用所得環境が良好ななか、個人消費は回復の兆し。企業部門では、輸出の増加などを受け生産が拡大基調にあるほか、設備投資も底堅く推移。

(2) 当面の見通し

先行きは、①製造業の在庫復元に伴う生産増、②世界的なIT需要の拡大や設備投資の回復を背景とする輸出の増加、 ③老朽化した設備の更新投資や非製造業での建設投資、④雇用所得環境の改善、などがプラスに作用。加えて、経済対策 の実施に伴う公共投資の増加も景気を下支えし、緩やかな景気回復が続く見通し。もっとも、トランプ米大統領の政策運 営などで不透明感が残っており、海外の動向には引き続き注意が必要。

<当面の国内主要経済指標等のスケジュール>

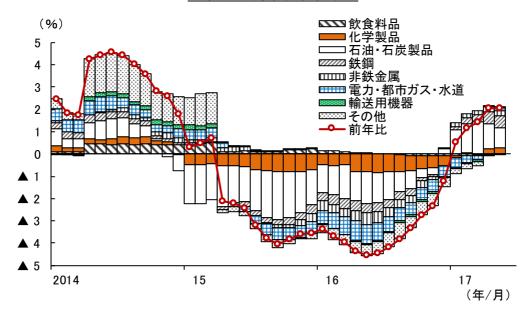
月日	指標名等	発表機関
6/19 (月)	5月 貿易統計	財務省
6/20 (火)	5月 百貨店売上高	日本百貨店協会
	5月 チェーンストア売上高	日本チェーンストア協会
6/21 (水)	5月 訪日外客数	日本政府観光局
6/23 (金)	6月 日経PM I (速報)	日本経済新聞社

<図表で見る経済指標>

(図表1)機械受注額(季節調整値)



(図表2)企業物価指数(前年比)



本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成 日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

わが国の主要景気指標

(%)

2016年度 2016年 2017年 2017年 10~12 2月 3月 4月 5月 $1 \sim 3$ 鉱工業生産指数 0.2 1.8 3.2> <▲ 1.9> 4.0 2.1) 3.8 4.7)3.5)5.7)鉱工業出荷指数 2.4> <_ 0.17 1.4> 0.8> 2.7 0.8 1.8) 3 7 3.7)3.5)4.9) 鉱工業在庫指数(末) 2.4> 2. 27 0.7 1. 5> 1.5> 4.0 5.3) 3.9) 4.0)(🛦 4.0 1.1) (🛦 生産者製品在庫率指数 4.0> 1.6 <▲ 0.3> 0.2> 2. 9> (🛦 4.5) 4.5) 3.4)5.1) 1.1) 1.7 稼働率指数(2010年=100) 98.6 100.1 99.8 101.4 99.8 104.1 2.1> 0.3 3.2> 1.6> 4.3> 第3次産業活動指数 0.1><▲ 0.32 < 0.1> <▲ 0.3> 1. 25 0.7)0.2)1.4)0.1)0.6全産業活動指数 0.000.63 0.4>0.72< 0.7)1.1) 0.8 0.0)機械受注 0.3> 3. 1> <▲ 1.42 1.5 1.4> <▲ 0.5) 3.6) (船舶・電力を除く民需) (🛦 1.0 5.6) (🛦 0.7)2.7建設工事受注(民間) 5. 1) 16.7) 4.8) 1.5) 2.4) $(\blacktriangle$ 2. 2) 公共工事請負金額 9.9 10.4)8.5) 4. 1) 4.5) 10.9) 1.7) 新設住宅着工戸数 97.5 95.3 97.5 94.0 98.4 100.4 (年率、 万戸) 7.9) 2.6) 0.2)1.9) 5, 8) 3, 2 消費支出 (全世帯、名目) (🛦 1.6 (🛦 0.3)(🛦 1.6 (🛦 3.4) (🛦 1.0) $(\triangle 0.9)$ (実質) (🔺 1.6) (🔺 0.7)(🔺 2.0)(🔺 3.8)(🔺 1.3) (🔺 1.4) (勤労者世帯、名目) (🛦 0.2 (🛦 2, 4) (🛦 1.4) (0,4)0.1)(0.7)(実質) 1.4) 0.0)0.6)0.3)0.4)2.9) 百貨店売上高 (🛦 2.9 (🛦 2.7) (**A** 1, 3) (🛦 1.7) (0.9)0.7)チェーンストア売上高 (🔺 1. 3) $(\blacktriangle$ 0.2)(🔺 2.2)(🔺 3.3) (1.8) 0.6)乗用車登録·販売台数 3.1 5.6) 7.8) 8.2)9.6)10.4) 13.4) 完全失業率 3, 02 3 05 2.86 2.85 2, 75 2.77 有効求人倍率 1.39 1.41 1.44 1.43 1.45 1.48 現金給与総額 (5人以上) 0.40.4)0.2(0.4)(0, 0)0.5所定外労働時間 (" 0.7) 1.2) 1.2) 1.5) 1.5) 0.6)常用雇用 2. 2) 2.3) 2.3 2.4) 2.4)2.5) 企業倒産件数 8,381 2,086 2,079 688 786 680 802 前年差 ▲303 **▲**66 **▲**65 **▲**35 40 **▲**15 131 M2 (平残) 3.6) 3.8) 4.1) 4.1) 4.2)4.0)3.9) 広義流動性 (平残) 1.8 1.6)2.2 2.3)2.4)2.6)2.8)(兆円) 経常収支 5. 79 20. 20 2.81 2.91 1.95 4.09 前年差 2.34 0.94 ▲0.14 0.43 ▲0.06 0.14 通関貿易収支 (兆円) 4.00 1.26 0.33 0.81 0.61 0.48 前年差 5. 11 1.41 0.01 0.58 **▲**0.13 **▲**0.33 通関輸出 (兆円) 71.53 18.51 19.00 6.35 7.23 6.33 (**A** 3.5) 1.9) 8.5 11.3)12.0)7.54. 7) 輸出数量 2.4) 5.1) 8.3) 6.6)4.1) 2.8) 輸出価格 5, 8) 5.0)6.3)3, 1) 3.2)通関輸入 (兆円) 67.5317.2418.67 5.54 6.625.85 (**A** 10. 2) 9.3) 8.6 1.3) 15.9) 15.2) 輸入数量 0.5) 1.6) 2. 2 4.3) 4.2)5.0)輸入価格 (10.7) (▲ 10.7) 6.2 5.8) 11.3) 9.7) 金融収支 5, 27 1.07 (兆円) 24.95 2, 21 1.78 5.02 前年差 1.10 **▲**2. 15 **▲**3.75 **▲**1.27 **▲**0.18 **▲**0.55 企業向けサービス価格指数 0.2> 0.12 0.3> <▲ 0.2> 0.6> (2010年=100)0.4 0.4)0.70.8)0.8)0.7)

				(%)
		企業	物価	
	国	内	輸出	輸入
	前月比	前年比	前年比	前年比
2015年度		▲ 3.3	▲ 1.3	▲ 13.3
2016年度		▲ 2.3	▲ 7. 0	▲ 10.5
2016/4~6	▲ 0.6	▲ 4. 5	▲ 11.2	▲ 19.7
7~9	▲ 0.3	▲ 3.8	▲ 12. 7	▲ 19. 2
10~12	0.4	▲ 2. 1	▲ 6. 0	▲ 8. 9
2017/1~3	1. 5	1.0	2.4	8.8
2016/5	0.0	▲ 4.6	▲ 10. 7	▲ 18.8
6	0.0	▲ 4. 5	▲ 13. 7	▲ 21.9
7	▲ 0. 1	▲ 4. 2	▲ 13.3	▲ 20.9
8	▲ 0.3	▲ 3.8	▲ 13.8	▲ 20.4
9	0.1	▲ 3.3	▲ 11.0	▲ 16. 1
10	▲ 0.1	▲ 2.7	▲ 9. 0	▲ 14. 1
11	0.4	▲ 2.3	▲ 7. 0	▲ 9. 7
12	0.7	▲ 1.2	▲ 1.8	▲ 2.7
2017/1	0.6	0.5	0.8	4.5
2	0.3	1. 1	2.6	9.8
3	0.2	1.4	3.8	12. 4
4	0.2	2. 1	3.0	11.0
5	0.0	2.1	4. 4	13. 5

(%)

全国	消費者物価		除く生鮮食品	
	前月比	前年比	前月比	前年比
2015年度		0.2		0.0
2016年度		▲ 0.1		▲ 0.3
$2016/4\sim6$	0.3	▲ 0.3	0.4	▲ 0.4
7~9	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.5
10~12	0.6	0.3	0.2	▲ 0.3
$2017/1\sim 3$	▲ 0.4	0.3	▲ 0.1	0.2
2016/4	0.2	▲ 0.3	0.3	▲ 0.4
5	0.1	▲ 0.5	0.0	▲ 0.4
6	▲ 0.1	▲ 0.4	0.0	▲ 0.4
7	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.5
8	0.0	▲ 0.5	0.0	▲ 0.5
9	0.2	▲ 0.5	0.0	▲ 0.5
10	0.6	0.1	0.2	▲ 0.4
11	0.0	0.5	0.0	▲ 0.4
12	▲ 0.2	0.3	0.0	▲ 0.2
207/1	▲ 0.2	0.4	▲ 0.2	0.1
2	▲ 0. 1	0.3	0.0	0.2
3	0.1	0.2	0.2	0.2
4	0.4	0.4	0.4	0.3

(%)

				(70)
東京	消費者物価		除く生鮮食品	
都区部	前月比	前年比	前月比	前年比
2017/3	0.1	▲ 0.4	0.2	▲0.4
4	0.4	▲ 0. 1	0.4	▲ 0.1
5	0.2	0.2	0.2	0.1

(2010年=100)

		(2010	1 100/
	景気動向指数		
	先行	一致	遅行
2016/4	99.4	111.3	114.6
5	99.7	110.1	113.2
6	100.2	111.3	113.8
7	99.8	111.5	113.4
8	100.5	111.7	113.5
9	100.2	111.9	114.1
10	101.2	112.9	113.8
11	103.0	114.6	114.1
12	104.9	114.6	114.9
2017/1	104.7	113.3	115.3
2	104.9	115.0	115.9
3	105.7	114.4	116.7
4	104.5	117.7	116.2

主) 〈 〉内は季節調整済前期比、()内は前年(同期(月))比。

(%) 2016年度 2015年 2016年 2017年 10~12 $7\sim9$ 10~12 $1 \sim 3$ 大企業·製造 業況判断D I 12 10 12 6 6 6 非製造 25 22 19 18 18 20 中小企業·製造 0 **▲**4 **▲**5 **▲**3 5 非製造 5 0 売上高 (法人企業統計) 2.7) 3.3) 3.5) 1.5) 2.0) 5. 6) (🛦 9.3) (**A** 10.0) 11.5) 16.9) 26.6) 経常利益 1.7 ((🛦 (🛦 売上高経常利益率 4.85.9 5. 2 6.1 5.7 5.4 実質GDP 0. 22 0.6> 0.4> 0.3> 0.3> 0.3> (2011年連鎖価格) 1. 2) 0.9)0.5)0.9)1. 1) 1.6)1.3) 0.3 名目GDP 0.9> <▲ 0.220.1> 0.4> 0.3 1.4 1.3) (0.9)1.6) 0.5

(出所) 内閣府、総務省、財務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、日本銀行、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、株式会社東京商工リサーチ、保証事業会社3社